基礎知識インプット期

基礎知識インプット期は、論文答案を書く最低限の基礎知識をざっくりと理解していただく時期です。はじめからすべてを理解してしまおうとすると勉強が挫折してしまいがちですので、「ざっくり」理解する程度でいいのだ、という軽い気持ちでこの時期は勉強に臨んでください。暗記はこの時期には意識する必要はなく、あくまで学習範囲の概観と、短答のレベル感の把握、そして、基礎問で書く内容の理解、といった全体像把握が重要です。

レベル１：入門講座を聞く

入門講座はその法律の概要を説明したものです。基礎講座に入る前に、その科目でどのようなことを学ぶのか、ということを解説していきます。ここでは内容を理解したり暗記したりしようと努める必要はありません。単に「ふーん、そうなのか」といった程度で聞き流せば十分です。

レベル２：基礎講座Ⅰの前半部分を聞く

入門講座を聞いたら、基礎講座Ⅰの前半部分を聞いていくことになります。ここは**可能な限り講義を早いスピードで聞いてください（目安1.3～1.5倍）。**入門講座でその法律の全範囲を概観しましたが、実はこの基礎講座Ⅰでも、その法律の全範囲を概観するんだ、という気持ちで聞いていただければ構いません。

勿論、真剣に聞いて理解しようとすることは大事ですが、わからないところについて時間をかけて理解しようとしたり（調べ物をしたり）、まして何かを暗記しようとする必要はありません。単に講座をしっかりと聞く、ということで結構です。初回で講座を聞いたときの理解度は20－30％くらいが普通です。３割くらいわかれば十分（７割はわからなくて当然）、という軽い気持ちでいいのでまずは前半部分を聞いてみてください。

レベル３：レベル２の該当部分のワークシートを穴埋めする

基礎講座Ⅰで使っていたスライドが穴埋めになっているものがワークシートです。

基礎講座Ⅰを１回聞くごとにワークシートを穴埋めしていってもいいですし、基礎講座Ⅰの前半部分を聞いてからまとめて穴埋めしても構いません。

最も効率がよいのは、基礎講座を聞きながら、ワークシートを穴埋めしていくことです（レベル２と３を一緒にやってしまう）。適宜重要な単語について穴埋めをして理解しながら、学習を進めていきましょう。ここでも暗記は不要で、全体の基礎的な用語のうち30％程度を理解できていれば十分です。

基礎講座はワークシートの内容を順番に解説していますので、ワークシートの該当ページも基礎講座の順番に沿って追っていけば自然に分かるようになっています。仮に該当ページがわからなくなってしまっても、講義を聞きながらスライドを探す作業も１つの勉強ですので、諦めずに該当ページを探しましょう。

レベル４：WEB短答問題・アプリ

レベル２，３をクリアしたら、そこに該当する分野のWEB短答問題またはアプリの問題を解いていってください。問題の中には、講義で明確に扱っていないものも含まれていると思いますが、初回に解く際には、「そういうものもあるのか」という程度の気持ちで学習を進めていけば十分です。この段階で正答率など気にしてはいけません。**まずは該当部分を全問解いてみて、短答式試験のレベル感を肌で感じることが必要です。**復習はあとでやりますので、このレベルでは一通り学習する（ポチポチ解く）だけで問題ありません。短答の解説も精読は不要ですし、２度解く必要もありません。

レベル５：基礎テキストのレベル２，３の該当部分を読む

ワークシートの他に基礎テキストも読んでおきましょう。ここで重要なのは「精読しないこと」です。例えば、憲法であれば基礎講座Ⅰで扱っていない判例もたくさん掲載されていますが、それらに目を通す必要はありません。あくまで、基礎講座Ⅰ、ワークシートの内容が文章になっているものを読むんだ、という程度で結構です。基礎講座Ⅰで扱っていない部分については読む必要はなく、読み飛ばす形で構いません。**テキストは後で何度も戻ってきますので、最初に読む段階では精読ではなく、ざっと読むだけ、という意識でよいので**

合格読本.indd 42-43 2019/04/09 13:53